

麻酔科

○診療科の紹介

当院は平成19年に開院した神奈川県横浜市鶴見区の病床数560の総合病院で、地域の中核病院として急性期医療および種々の高度専門医療を中心に提供する役割を担っています。麻酔科は現在、常勤医14名で運営しており、臨床研修医は常時ローテーションしています。麻酔科後期研修医は5人在籍しています。日本麻酔科学会の麻酔科認定病院に認定されており、年間約5,300例の全身麻酔を麻酔科が管理しています。前立腺がんに対するロボット手術（ダヴィンチ手術）、腹部及び胸腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術（EVAR、TEVAR）、大動脈弁狭窄症（AS）に対する経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）も施行しています。また心臓血管外科では全例経食道心エコー（TEE）をモニターしながら心臓麻酔を行っているためJB-POTの受験希望者にもよい環境です。なお、エコーガイド下に各種ブロックも行っていきますので、神経ブロックに興味のある方も歓迎します。麻酔科内はもちろん、外科系各科とのコミュニケーションも良く、働きやすく雰囲気の良い職場です。また、平成27年度プログラムから、気道確保、気管挿管、Aライン、CVライン挿入、脊椎麻酔などの基本手技を経験できる麻酔科は1年目の必修科となりました。全身麻酔を通じ、呼吸、循環、疼痛管理などの全身管理の基本も学べます。

麻酔科部長 佐藤 智行



◇先輩からのメッセージ◇

当院はほぼ全科が揃っており、経験できる症例の種類が一般的な市中病院より豊富です。

3次救急病院であり、心臓外科・脳外科・救急科・外科・整形外科などの緊急手術が入らない日がありません。

そのため、経食道心エコー・末梢神経ブロック・状態の悪い患者を豊富に経験でき、麻酔科医として大きく成長できます。da VinciやTAVIなど最先端の手術の麻酔も経験でき、大学病院と遜色のない経験ができます。

医局内の勉強会が月3回、学会発表の場も数多くあり、アカデミックな面でも充実しています。また、日々の忙しい業務の中、スタッフの先生方・コメディカルの方々も和気藹々としており、非常に働きやすい

環境です。少しでも興味を持たれた方、是非見学にいらしてください。

○2016年診療実績

麻酔科管理全症例数	5,265件
小児科（6歳未満）	53件
産婦人科（帝王切開）	350件
呼吸器外科	166件
脳外科	170件
心臓外科	245件

○専門医

日本麻酔科学会指導医3名

日本麻酔科学会専門医7名

日本麻酔科学会認定医4名

○連携施設名

当院が基幹施設として：慶應義塾大学病院、東京都立小児総合医療センター、関東中央病院、東京都済生会中央病院、東邦大学医療センター大橋病院、国家公務員共済組合連合会立川病院、日本鋼管病院、川崎市立井田病院、社会医療法人財団石心会 川崎幸病院

当院が連携施設として：慶應義塾大学病院、川崎市立病院、東京都済生会中央病院